

第 86 回信託研究会 議事要録

日時：2025 年 1 月 25 日（土）10 時～11 時

場所：金沢星稜大学 大屋研究室

出席者：今井、黒田、高橋、大屋（議事録作成者）。以下、敬称略

◆検討事項

1. アメリカファンドレイジングの検討

アメリカにおけるファンドレイジングの内容について理解を深め、現実に行われている具体例の内容を論文に取り入れることとした。

ワークプレイス・ギビングやドナー・アドバイズド・ファンド（DAF）の内容は、我が国においても有効となるのではないかという意見が出た。特に DAF については、時間を変えて（超えて）優遇税制を利用できる点は、わが国の納税者や資金調達団体にとって有益なものではないかという意見が出された。

2. 中国の事例

中国での寄付受け取りの事例として、北京大学教育基金会を確認し、公開内容について論文に取り入れることとした。

3. 紀要への投稿について

来年 3 月末締め切りの紀要投稿にむけて執筆を進める。

4. 次回までの調査事項

（1）アメリカのワークプレイス・ギビング、ドナー・アドバイズド・ファンド（DAF）の具体例を調査する。中国の寄付の現状の精査及びその他中国寄付の特徴的な状況の確認

（2）北京大学教育基金会の実態の確認

（3）信託と寄付の関係、特定寄付信託税制の確認（第 2 章第 1 節、第 2 節）。

次回は、2025 年 2 月 22 日（土）10 時より金沢星稜大学大屋研究室

ホームページ：<http://shintaku-k.opal.ne.jp/>